

【監修】

大阪大学大学院 医学系研究科  
健康発達医学寄附講座 教授  
NPO法人 血管医学研究推進機構 理事  
中神 啓徳 先生

## 閉塞性動脈硬化症ってどんな病気？

### ●足の血行が悪くなる病気です。

腹部から両足に伸びる動脈が詰まったり狭くなったりして、足の血行が悪くなる病気です。生活習慣病（高血圧・糖尿病・脂質異常症）がこの病気を起こす原因とされています。喫煙やストレスも影響します。

### ●症状

まず足の血流が悪くなることより、痺れや冷えを感じます。

ここで治療をしないと間欠性跛行（かんけつせいはこう）といって少し歩くと足に痛みや疲労を感じて数分休むといった特徴的な症状に進みます。さらに悪化すると、安静にしているだけでも痛みが出現しだし、筋肉などの組織に壊死や潰瘍（かいよう）がおこり、最悪の場合、足の切断をすることもあります。

### ●予防

生活習慣病（糖尿病など）の基礎疾患がある方は継続治療し、食事に気をつけ、禁煙します。また、脳卒中などの他の血管の病気を合併することも多いので、発症後の服薬と健康管理はとても大切です。

### ●閉塞性動脈硬化症にかかりやすい人

動脈硬化、脳卒中や心臓病との合併症が多く、腎機能障害、高血圧、糖尿病、コレステロールや中性脂肪が高いなどの合併症をもつ50歳以上男性が要注意です。

心配な方は、循環器科やフットケア外来などで一度ご相談されることをお勧めします。

# 閉塞性動脈硬化症の治療

【監修】

大阪大学大学院 医学系研究科  
健康発達医学寄附講座 教授  
NPO法人 血管医学研究推進機構 理事  
中神 啓徳 先生

## ●食事療法

過食・間食を抑え標準体重を維持しましょう。コレステロールや不飽和脂肪酸を多く含む食品の摂取をひかえ、魚類、大豆製品、野菜、海藻など摂取を増やしましょう。

## ●運動療法

目指すは1日1万歩！毎日30分以上歩きましょう。毎日できなくても週3回以上、または1週間の合計が3時間以上になればOK。忙しい人は、空いた時間、1回10分間程度を1日何回か繰り返すだけでも、効果があります。内臓脂肪を減らしたい人は、最低でも1日合計60分は歩きましょう。

## ●薬物療法（内科治療）～継続して服用しましょう。

患者さんの状態を診て専門医は血圧やコレステロールや血糖の治療薬を処方しますので、忘れず内服しましょう。

## ●外科治療～「夢の治療」日本初の再生治療（HGF遺伝子治療薬）の登場！

従前の外科的治療法に追加して新しい治療法が厚労省で認められました。この治療は、低侵襲な治療であり、医師の診断のもと保険適用で治療が受けられます。

保険適用：潰瘍がある患者様 保険3割負担。 治験適用：安静時疼痛の患者様（費用はかかりません）

お薬の詳細事項、治療について、主治医もしくは次の機関へお尋ねください。

田辺三菱製薬株式会社 薬相談センター フリーダイヤル：0120-753-280